平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本語5(Japanese5)			授業コード	A023401
担当教員名	清田芳弘			科目ナンバリングコード	
配当学年	3年留学生	開講期	前期集中		
必修・選択区分	選択	単位数	1		
履修上の注意または履修条件	3年生以上の留学生が対象。「日本語6」との集中講義で実施しますので、「日本語6」も合わせて受講してください。				
受講心得	毎回、次の回の教材を配布しますので、必ず読んできてください。				
教科書	プリント教材				
参考文献及び指定図書	・グループジャマシイ編 『教師と学習者のための日本語文型辞典』(くろしお出版) ・浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 『大学生と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版)				
関連科目	日本語1、日本語2、日本語3、日本語4、日本語6				

授業の目的	さまざまなテーマの文章を読むことで、幅広い話題に対応できる語彙力、表現力を養成する。
授業の概要	毎回、違うテーマの文章を読んで、内容を把握し、まとめる作業を通して、語彙力を高めるとともに、テーマについての自分の考えを書いたり、話したりできるようになることを目指します。また、日本語能力試験N1レベルの語彙についても勉強します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 講義計画の説明および日本語力の確認	
第 2 週 : テーマ1　政治・経済①課題文:『政治のしくみがわかる本』(岩波ジュニア新書)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 3 週 : テーマ1　政治・経済②課題文:『国際感覚ってなんだろう』(岩波ジュニア新書)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 4 週 : テーマ2　歴史・文化①課題文:『インド・カレー紀行』(岩波ジュニア新書)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 5 週 : テーマ2　歴史・文化②課題文:『人間はこんなものを食べてきた』(日経ビジネス人文庫)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 6 週 : テーマ2　歴史・文化③　課題文:『色彩の世界地図』(文春新書)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 7 週 : テーマ3　科学①　課題文:『いま、この研究がおもしろい』(岩波ジュニア新書)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 8 週 : テーマ3　科学②　課題文:『現代人のための脳鍛錬』(文春新書)	配布資料 学習課題の時間　60分
第 9 週 : テーマ4　日本の技術　課題文:『ものづくりに生きる』(岩波ジュニア新書)	配布資料 学習課題の時間　60分

第10週： テーマ5　情報・インターネット　課題文：『デジタルの仕事がしたい』（岩波ジュニア新書）	配布資料 学習課題の時間　60分
第11週： テーマ6　日本語・コミュニケーション　課題文：『コミュニケーションの日本語』（岩波ジュニア新書）	配布資料 学習課題の時間　60分
第12週： テーマ7　環境　課題文：『新版ごみから地球を考える』（岩波ジュニア新書）	配布資料 学習課題の時間　60分
第13週： テーマ8　働く　課題文：『表現する仕事がしたい』（岩波ジュニア新書）	配布資料 学習課題の時間　60分
第14週： テーマ9　知的技術①　課題文：『疑う技術』（PHP新書）	配布資料 学習課題の時間　60分
第15週： テーマ9　知的技術②　課題文：『1分で大切なことを伝える技術』（PHP新書）	配布資料 学習課題の時間　60分
第16週：期末試験 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
備考	毎回、最初に語彙の問題演習を行います。 その後、課題の文章を読み、①内容の把握→②音読→③要約を行います。 授業の最後には、要約したものを提出してもらいます。	

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①身近な話題から社会的な話題まで、さまざまなテーマについて自分なりの解釈ができ、自分の意見を持つこと。
【知識・理解】	②資料の内容を速く、的確に把握できるようになること。 ③読み取った内容を簡単な言葉でまとめることができるようになること。
【技能・表現・コミュニケーション】	④授業で扱ったテーマについて、自分の考えを話すことができるようになること。
【思考・判断・創造】	⑤各テーマをめぐる意見に賛成か反対か、理由とともに述べることができること。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**80点**	**10点**	**10点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
（「人間力」について）				

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	原則として、毎回、授業で扱うテーマに関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	2～3人のグループごとに、授業で扱うテーマに関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。